

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和6年 3月定例会・全員協議会



子ども園に展示されている、勝野眞言先生制作のオブジェ。

小学校廊下に展示されている、広瀬淑子先生制作の絵画。

議会の眼：

町出身の芸術家の方々より作品が寄贈されました。子どもたちが身近な場所で芸術に触れられるように展示されています。



上：能登半島地震の1日も早い復興を願い、日本赤十字社を通して議会議員一同から義援金5万円をお贈りしました。
左：高橋進議員が議員活動28年の表彰をされました。

| | |
|-------------------|------|
| ☆ リニア新幹線対策特別委員会報告 | 37 P |
| ☆ 議会報告 | 36 P |
| ☆ 松塩筑木曾老人福祉施設組合 | 36 P |
| ☆ 木曾広域連合議会報告 | 34 P |
| ☆ 全員協議会 | 31 P |
| ☆ 令和6年度当初予算 | 29 P |
| ☆ 令和6年3月補正予算 | 28 P |
| ☆ 請願・陳情 | 24 P |
| ★ 一般質問・8人の議員が質問 | 23 P |
| ★ 3月定例会可決議案一覧 | 22 P |

議会だより目次

○3月定例会は、2月26日から3月13日の17日間の会期で開かれました。また同日に全員協議会が行われました。

令和6年 3月定例会 可決議案一覧

| 予算関連議案 | | 賛否 |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| ●令和5年度 補正予算 | <ul style="list-style-type: none"> 一般会計（第8号）の補正は5,269万7千円減額し、総額44億8,310万5千円となります。 一般会計（第9号）の補正は109万円増額し、総額44億8,419万5千円となります。 | 賛成多数 |
| ●令和6年度 当初予算 | <ul style="list-style-type: none"> 一般会計予算総額:39億4,500万円(前年度比較3.7%減) 特別会計予算総額:4億6,249万3千円 ※事業会計については今月号11Pをご覧ください。 | 賛成多数 |
| 一般議案 | | 賛否 |
| ●令和5年度町道中山道道路災害復旧工事請負契約の締結及び契約の変更 | <ul style="list-style-type: none"> 契約の方法：指名競争入札 契約金額：145,970,000円（税込）→変更後：147,774,000円 契約の相手方：株式会社 名工土木 | 全員賛成 |
| ●木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄 | <ul style="list-style-type: none"> 木曾広域連合の事務・事業は、ふるさと基金の一部を取り崩して財源充当をするため、木曾広域連合ふるさと基金条例に規定する基金の処分にあたり、南木曾町の出資分のうち453千円の権利を放棄するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町過疎地域持続的発展計画の変更 | <ul style="list-style-type: none"> 事業内容の変更や追加など、計画の一部を加除・修正するものです。 | 全員賛成 |
| 同意案件 | | 賛否 |
| ●固定資産評価審査委員会の委員の選任 | <ul style="list-style-type: none"> 池田 興衛（再任）：南木曾町吾妻 | 全員賛成 |
| 条例議案 | | 賛否 |
| ●パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 地方自治法の一部改正に伴い、パートタイム及びフルタイム会計年度職員に対する勤勉手当の支給について追加規定するものです。 | 全員賛成 |
| ●フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正 | | 全員賛成 |
| ●南木曾町職員の懲戒に関する条例の一部改正 | | 全員賛成 |
| ●南木曾町消防団条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 南木曾町消防団の組織体制の見直しに基づき、団員の定年年齢を49歳まで引き上げ、定員を310名から270名に改めるものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 消防団員の処遇改善を図るため、消防団員及び機能消防団員の報酬額を引き上げるものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 公職選挙法施行令に規定する公営単価について、公営に要する経費に係る限度額の引き上げ改正に準じて条例の一部を改正するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町犯罪被害者等支援条例 | <ul style="list-style-type: none"> 犯罪被害者等支援の基本事項を定め、犯罪被害者等が受けた被害の回復と軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができるよう支援するために必要な事項を定めるものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町国民健康保険税条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度から行っている改正であり、県が毎年度算定し市町村に示している標準保険税税率を目標とし、町の税率を近づけていくものです。令和9年度に向け徐々に改定していきます。 | 賛成多数 |
| ●南木曾町福祉医療費給付金条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 県の福祉医療費給付事業補助金の対象外となっていた「後期高齢者医療被保険者（障害者を除く。）」について県補助対象となったことにより町の条例も改正するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町営簡易水道条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 簡易水道事業経営認可の給水区域を拡張するため、条例の文言を修正するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町営住宅等に関する条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 公営住宅長坂団地の1棟1戸を公営住宅から単独町営住宅に用途変更及び除却することで、公営住宅に入居できない者向けの住宅として活用するものです。また、町営住宅中折団地は除却により削除するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町子ども・子育て会議条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、文言を修正するものです。 | 全員賛成 |
| ●南木曾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 | <ul style="list-style-type: none"> 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に合わせて整理するものです。 | 全員賛成 |



3月定例会

8人の議員が一般質問



◆赤坂 孝 議員

- ・全世代型社会保障高齢者の負担増について
- ・今後のリニアについて

◆伊藤 寿子 議員

- ・空家対策総合支援事業
選ばれる町になるためには
- ・災害備蓄品の更なる充実・配備の内容は

◆田中 晃 議員

- ・観光で稼げる町づくりを提案

◆早川 親利 議員

- ・町長の8年間を振り返って
- ・退職した職員の再雇用について

◆松原 崇文 議員

- ・地震防災について

◆近藤 隆 議員

- ・人口減少対策はどうするか

◆矢澤 和重 議員

- ・YouTubeチャンネルを開設しては

◆坂本 満 議員

- ・地方創生総合戦略の転換が必要では
- ・リニア工事の実情

※一般質問の質疑内容は各議員の編集によります。

全世代型社会保障 高齢者の負担 増について

Q 医療費窓口負担の引き上げが後期高齢者を含め範囲拡大されるが。

A 国では経済財政諮問会議において「全世代型社会保障の構築」を目指し、制度改革の検討を行っています。そこで窓口負担増を令和10年度までに実施するか検討するとしています。国の枠組みであり、町では動向を見守りたいと思います。

Q 高額療養費制度の自己負担限度額の引き上げ検討について問う。

A 窓口負担増と同様に令和10年度までの検討課題で、町では国の動向を見守りたいです。

Q 介護老人保健施設の多床室の室料金全額自己負担とケアプランの有料化について問う。

A 国で検討中なので、動向を見守りたいです。

Q 老々介護の実態は。

A 木曾広域の調査では6割より低い水準となっ

ていると思われる。町では同様の数値を持っていませんが、在宅の要介護3以上の方129人のうち65歳以上の高齢者のみで構成されている世帯は16世帯で割合は12%となっています。

Q 老老介護が増える中、本人、家族の負担になる

A 町としては、住民自身が「できる力」を発揮し、その人らしい生活が長く維持できるよう、介護予防事業を引き続き推進し、健康寿命を延ばし、老々介護や要介護状態になるべくならないように支援していくことが重要と考えています。

今後のリニアについて

Q 今後のリニア対策協議会について、委員の選出方法と任期は。

A 地域振興会長及び地振枠は地振で確認し、一部見直しも検討中です。地振会長は2年ですが地振枠では継続が可能です。

Q 協議の進め方は。



赤坂 孝 議員

A 協議会の中で意見を求め意見がないようであれば次に進めます。

Q リニア活用検討委員会の目的と、「南木曾町リニア活用基本構想」の扱いについて問う。

A リニア活用基本構想の実現に向け具体的に進めることが目的で、外貨を稼ぐ、人の流れ作る、繋がる基盤を作るの3つの構想を軸に、アイディアの検討、提案を行います。

Q 委員の選出基準、構成、任期は。

A 詳細は設置要綱に記載され委員会は20名以内、1期2年、継続可能です。継続については臨機に対応していきます。

Q 学識経験者は。

A 松本大学「佐藤博康」名誉教授です。

空家対策総合支援事業 選ばれる町になるためには

Q 町長施政方針に空き家対策の新規事業として、空き家を活用したサテライトオフィス、移住体験住宅、移住定住促進空家

Q 町独自の方策は特にないということか。

活用住宅の整備事業を始めるとある。今この自治体でも力を入れている事業だが、その中で移住者に選ばれるために何かこの町独自の方策を考えているか。

A これから始まる事業がPRポイントになると思います。

Q 妻籠宿の田原家がこの事業の最初だったが、あそここそサテライトオフィスに適していたのではないかと思うが。

Q 妻籠宿の田原家がこの事業の最初だったが、あそここそサテライトオフィスに適していたのではないかと思うが。

A 6年前に空家対策協議会を設置し、所有者不明で危険な家屋への対応やまた活用可能な住宅への対応を進めてきました。妻籠宿の田原家・櫻井家や現観光協会の事務所、田立の地域活動支援センターなど地域振興上有効な場合などです。また今回のような移住定住策に活用可能な場合もありま

A 空家対策事業は危険な家屋の対策と活用できるものは活用するというのもので一例が田原家・櫻井家です。様々な用途で利用されているため検討の範囲に入れませんでしたが、**意見**今は地域活動に役立つので良かったが、多額の予算が入っているのでも、使用目的をもっと少し考えるべきだと思います。また移住の決めのコミュニケーションがある。まずは近隣住民への詳細な説明と理解を、移住希望者へは田舎暮らしのノウハウをしっかりと

住者の体験談をまとめたパンフレットを、東京有楽町の移住者相談窓口に置き、PRに活用しています。



伊藤 寿子 議員

と説明していただき、選ばれる町になるための努力をお願いします。

災害備蓄品の更なる充実・配備の内容は

Q 能登半島地震により、改めて災害の恐ろしさを実感したが、町の備蓄品の現状は。

A 町内22の公共施設に、保存水3000本、ご飯・パン5000食、ワタタッチ Tent 50張、エアマット160枚、毛布490枚、仕切り用パーテーション110基などです。新年度は簡易トイレの備蓄充実も予定しています。

意見 トイレだが、畑に穴を掘って板を渡し Tent をかぶせれば使えるということもある。スコップ、トイレレットペーパー、消毒用の消石灰等も考えていただきたい。

観光で稼げる町づくりを提案

Q 出生数の減少や世帯数の減少に歯止めが掛かっていない。町はどう考え、改善策はあるか。

A 地方創生総合戦略などの施策を中心に人口減少対策を実行してきましたが、数値的には結果に結び付いていません。しかし、日本全体でも人口減少は進み、どの町でも決定的な対策がないことも事実です。子育て世代を中心に「選ばれる町」を目指し、出来る限りの対策を実施していきます。

Q 対策を実行するためには原資が必要。町の財政も苦しく、地方交付税等に頼っているには有効な対策が打てない。町も現在好調のインバウンド観光を活用し、滞在型の観光地を実現させ、もっと税金を稼ぐことを考えてはどうか。

A 農泊推進協議会が重点地域指定を受け、国からの支援を頂けることと

なりました。また、中津川市や木曾地域・下伊那地域と連携した「リニア時代に備えたスローストリズム構築事業」等を推進し、民間の協力も得ながら、滞在型観光地実現に取り組んでいきたいと考えています。

Q 滞在型の観光地を目指すには「観光協会」の役割が重要だが、現在「南木曾町観光協会」は人員不足もあり、十分な活動ができていないように見受けられる。町は今後どのような支援を考えているか。

A 観光協会の体制が充実整うよう、人的な応援を考えています。

意見 南木曾町には今、町内外からの資本投入により、ゲストハウスや飲食店の出店計画がある。これらの活動が実を結んで滞在型観光地を実現させ、経済活動が活発化することにより、様々な人口減少対策を可能とさせ「住み良い・暮らしやすい南木曾町」となるよう



田中 晃 議員

期待する。

南木曾町の人口推移

| 年度 | 死亡 | 増減 | 転入 | 転出 | 増減 | 合計 |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| H30 | 92 | -74 | 111 | 122 | -11 | -85 |
| R 1 | 62 | -43 | 124 | 127 | -3 | -46 |
| R 2 | 73 | -60 | 124 | 138 | -14 | -74 |
| R 3 | 88 | -75 | 109 | 109 | 0 | -75 |
| R 4 | 89 | -75 | 107 | 129 | -22 | -97 |

町長の8年間で振り返って

Q 町長の今期4年間で振り返り、実行できたこと、成果はどんなことが上げられるか。

A この4年間は、コロナ禍一色になってしまい、その対策に追われました。前期を含めた8年間について振り返りたいと思います。20年近く続いた保育園統合問題については、こども園としてスタートできたこと、結婚祝い金、不妊治療、出産給付金、給食費や学力テスト、修学旅行等の費用補助、ふるさと納税も500万円から3000万円前後まで増額でき、リニア新幹線工事の残土処理候補地も決まりつつあり進捗が見られるようになりました。国道19号の整備においては、改良促進同盟会を立ち上げて運動ができるようになりました。木曽川の増水で、何度も避難を強いられましたが、木曽川河川整備計画も進み、雨量規制の緩

和もできました。保険者をはじめ関係者の努力で、医療検診率が全国上位に入りました。教育面でも、名城大学や名古屋外国語大学などと新たな交流も始まり、小中学校の教員加配、チャレンジクラブ、妻籠マラソン大会の支援等、教育、スポーツ、文化への支援は手厚く行っていると思っています。

Q 8年間町政を担い、やり残したことはあったか。

A 人口減少に歯止めがかからなかったこと、観光協会や妻籠宿について課題が残ったままになってしまいました。また行政や議会への関心を高める施策、職員についても働きやすくやる気の出る職場となる試み等も十分だったと思います。

退職した職員の再雇用について

Q ここ数年、役場職員の中途退職者がいる。自分のやりたい仕事、自分に向いた仕事が見つからず、移ってしまうことは一



早川 親利 議員

般的かもしれない。役場内で人が足りない、仕事が回らないと聞くことがある。繰越が2事業4億円ある。人出が足りず事業が進まないケースがあるように感じられた。長野県ではウエルカムバック採用方式を取り入れ、退職した元職員を対象に募集している。知事は外から長野県のあり方を見た人達に戻って活躍してほしいと期待している。町でも中途退職した職員や他の自治体を退職した人の採用を行う考えはないのか。

A 一定の経験をした職員が退職してしまうことは大きな損失です。新たな採用制度として検討したいと思います。

Q 面接のみとすると、前歴をしっかりと見るなどができないか。

A 検討します。

地震防災について

Q 通信指令室システムの令和8年の共同運用開始に向けて準備がされている。共同運用は必要と思うが、地震が起きたときに問題があると思う。その点についてはどうか。

A 大規模災害が発生した場合には、災害通報が集中し、共同指令センターで対応しきれない事態も想定されています。木曽広域消防本部で災害通報を受けるバックアップシステムを構築するとされています。

Q 地震に対する防災訓練の開催の考えは。

A これまでハザードマップを使った大雨、洪水等を想定した防災訓練を行ってきました。今後の防災訓練について、現時点で具体的な案を持っていませんが、今後は地震発生に対する対応が求められると思いますので、

検討していきます。

Q 今回の地震災害が起きて、あらためて自分の命は自分で守ることが大切と思った。町の備蓄品に頼るだけでなく、1人1人の準備も必要と考えるが、そのような啓発活動もお願いしたい。

A 能登半島地震の教訓として公的支援が届くまで、自助、共助が改めて大事であると言われていきます。住民自らが大規模災害を想定して、ある程度食料などを蓄えておく



松原 崇文 議員

といったことも必要であり、町の備蓄品の整備を行うと同時に自助共助といったところの啓発活動についても力を入れていきたいと思っています。

◀能登半島地震現地での被災状況



人口減少対策は
どうするか

研究を進める必要がある
と考えています。

●町村合併は

Q 長野県の人口が半世紀ぶりに200万人を割った。南木曾町は、現在約3750人で人口減少に歯止めがかからない状況だ。人口問題研究所によると26年後の2050年は2000人を割ると推計されているが今後の対策はどう考えているか。

A 現在、人口減少対策と人口減少社会に対応した地域を作っていくための各種施策に取り組んでいます。

Q 南木曾町は、平成16年に自立の道を選択して今年で20年になるが、町を維持していくために町村合併は考えているか。

A 現在は合併による財政支援もないため町村合併については考えていません。しかし、郡内各町村も人口が減っていく中で町村が運営する類似施設などは効率的に進めるうえで広域化・共同化の

●区の統合と役員業務の
軽減策は

Q 人口減少と高齢化が進む中、区の円滑な運営が難しくなっているが、町は区の統合についてどのように考えているか。

A 区にはそれぞれの歴史や事情があるため町が指導的に進めるのは難しいと考えています。

Q 町が依頼している地区役員の負担軽減についてはどのように考えているか。

A 防犯協会については、一定の役割を終えたとの判断により令和4年度をもって解散しています。また、他の役職についても業務の見直しや仕組みを工夫していきます。

Q 保健補導員は健診の調査票を各戸へ配布しているが、このような業務を郵送にして業務の軽減はできないか。

A 今後、保健補導員の会議の中で検討します。Q 公民館の分館役員も選出が難しくなっており、



近藤 隆 議員

生涯学習の要である分館活動に今後支障が出てくるのでは。

A 分館活動は、世代の垣根を越えた交流の場とも考えております。各分館の実情に合わせた活動をお願いしたいです。

●意見

2050年には2千人を割って超少子化・高齢化の町になることが予想されている。南木曾町を維持していくためにも区をどのように守っていくかを喫緊の課題として考えていただきたい。

人口減少は生産年齢人口の減少に直結しており、町の産業・経済や財政が縮小し住民生活にも大きな影響が出てくる。人口減少は全国的なことだが、町としては人口減少の速度を少しでも緩和して、人口が減っても暮らしやすい町をつくり上げていくことを願っています。

YouTube
チャンネルを
設けては

●移住定住の促進

Q 今まで一般質問において、空家対策、サテライトオフィス等の質問をしてきた。新年度事業、空家対策総合支援事業・サテライトオフィス・移住体験住宅整備事業、移住定住促進空家活用事業は、とても良い事業として始まると思う。更に促進するように町をアピールする為(観光地、特産物、暮らし等)YouTubeチャンネルの開設をしてはどうか。

A 新年度に提案しているいくつかの事業に取り掛かろうとしてきました。掛かろうとしてきました。PRを考えると十分にあると考える。今のところホームページを活用したPRを考えています。NPO法人ふるさと回帰センター、ウェブマガジンふるさとに掲載予定です。このホームページは一日に6800件のアクセス数があり、これから移住しようとして検討されている方の閲覧が多くあります。

空家活用事業は子育て世代、移住、若者世代を

ターゲットに進める事業だと思っております。

●町のアピールを

Q 今、田舎暮らし、家庭菜園などのキーワードが人気だ。南木曾町を知ってもらおうアピールするには最適と思う。町のYouTubeチャンネルの開設は難しいかもしれないが、例えば地域おこし協力隊、コーディネートに協力していたら、選ばれる町には必要と思うがどうか。

A アピールすることは非常に大切なことで、特に今の時代上手な情報発信が、町の認知度あるいは政策の活用に関わっていくことは十分にあると考える。今のところホームページを活用したPRを考えています。NPO法人ふるさと回帰センター、ウェブマガジンふるさとに掲載予定です。このホームページは一日に6800件のアクセス数があり、これから移住しようとして検討されている方の閲覧が多くあります。

今、田舎暮らし、家庭菜園などのキーワードが人気だ。南木曾町を知ってもらおうアピールするには最適と思う。町のYouTubeチャンネルの開設は難しいかもしれないが、例えば地域おこし協力隊、コーディネートに協力していたら、選ばれる町には必要と思うがどうか。



矢澤 和重 議員

今のところはYouTubeへの番組配信は考えていませんが、YouTubeなどの動画媒体を活用して視覚的に施設の様子が分かりやすくなる取組みを今後、研究していきたいと思えます。

●意見 ウェブマガジンで6800件のアクセスは凄いなと思う。それはぜひ利用活用してアピールしていただきたい。今後、移住者、定住者、地域の皆さん皆で協力して町をアピールしていけるように期待している。

空家活用事業は子育て世代、移住、若者世代を

地方創生総合戦略の転換が必要では

Q 総合戦略は来年度10年目を迎えるが、人口は左図のようだ。どのように評価していくか。

A 国が推計した人口減にほぼ近い状態になっており、残念ながら我が町においても人口減少そのものは止まらない結果となっております。

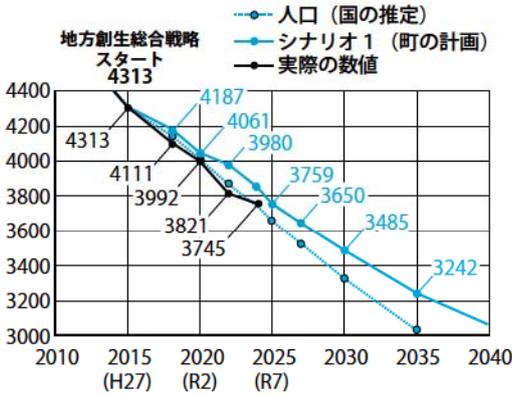
Q この地域が絶えず若い人材を育んでも、ここにとどまれない。戦略の大きな転換が必要。男1つは格差の解消。男

女間、職業における賃金格差の解消。2つはジェンダー平等。3つは自給と自立を目指す視点。

A 子どもたちのふるさとへの心を養っていくための教育方針を作っていく考えです。

賃金格差の解消はもともとで、農林業も賃金が上がれば自立できます。ジェンダーという言葉は、捉え方を慎重に判断して取り組む必要があります。自給は、国がもっと強くやるべき問題で、それができれば中山間地域が頑張れると思います。

南木曽町の人口動態の推移と実際 (人)



坂本 満 議員

リニア工事の实情

Q ダンプの台数確認

A 町にダンプ台数資料がある。尾越工区からの土砂搬出量は。

A 2月末で右岸道路へ約1万8000m³、神坂へ約5400m³です。

意見 データ公表は大事だ。今後も町での確認を。

Q 河川に必要な流量は

A 男タル川以外は、正常流量を示すかは聞いていません。

Q 山口工区からのトンネル掘削状況は。

A 先進ボーリングの一部が、南木曽側に既に入ってきています。

請願・陳情

令和6年度税制改正に関する提言ならびに法人市町村民税(法人税割)の標準税率採用の要望について

提出者

- 一般社団法人 木曽法人会
- 会長 大沢 謙一
- 支部長 山田 新一
- 税制委員長 進藤 賢一

趣旨

法人企業の税負担を軽減するため、法人市町村民税(法人税割)の標準税率採用に対し、早急な取り組みを求めらる。

結果

不採択

理由

郡下でも同様の制限税率。住民も標準の1.4%ではなく1.6%の制限税率としている。自立計画以来の取組であり、税率変更で357万円の減収となる。

議会の主な動き (12月定例会閉会以降を記載)

| 月 | 日 | 内容 |
|-----|-----|---------------------------|
| 12月 | 14日 | 全員協議会 |
| | 12日 | 議会のあり方研究特別委員会 |
| | 11日 | 議会報編集特別委員会 |
| | 10日 | 国道256号改良促進期成同盟会長野県要望活動 |
| 1月 | 20日 | 南木曽町右岸道路づくり委員会 |
| | 19日 | 蘇南高等学校地元市町村協議会 |
| | 17日 | 南木曽町消防団出初式 |
| | 16日 | 議会報編集特別委員会 |
| | 15日 | 後藤代議士との行政懇談会 |
| | 14日 | 議会初詣 |
| | 13日 | 議員研修旅行(沖縄、16日) |
| | 12日 | リニア新幹線対策特別委員会 |
| | 11日 | 第40回リニア中央新幹線対策協議会 |
| | 10日 | 空家等対策協議会 |
| | 9日 | 議会運営委員会 |
| | 8日 | 中津川市議会・南木曽町議会リニア特別委員会合同会議 |
| | 7日 | 木曽警察署庁舎落成式 |
| 2月 | 31日 | 南木曽町議会第1回臨時議会 |
| | 30日 | 議会のあり方研究特別委員会 |
| | 29日 | 議会報編集特別委員会 |
| | 28日 | 新木曽寮竣工式 |
| | 27日 | 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会2月定例会 |
| | 26日 | 長野県町村議会議長会第38回定期総会 |
| | 25日 | 南木曽町議会3月定例会(3月13日) |
| | 24日 | 木曽広域連合議会 |

3月補正予算審議概要

令和6年3月補正予算（一般会計、特別会計、事業会計）が審議され、賛成多数で可決されました。
補正予算概要を次ページの表に示し、審議での主な質疑を掲載します。

繰越明許費

●システム整備の繰越
●低所得者支援給付金事業の繰越経過について、その経過と理由は。

●2月の臨時議会で補正したものです。補正後からシステム改修にはいり、3月末までに給付金の支給完了が見込めないため繰越をお願いしたものです。

●町道妻籠町中線美装化工事

●町道妻籠町中線美装化工事で関係機関との協議に時間を要したとあるが概要は。

●施工方法について地元との協議に時間を要したこと、側溝の蓋について住民との協議により進めているため、3月工期が5月ま

で伸びました。

●下り谷地籍災害復旧工事

●下り谷地籍、民家付近の災害復旧工事については1月に発注すると聞いていたが現状は。

●発注が終わり、契約内容については改めて説明します。

●町道蘭線道路改良工事の繰越の理由は。

●用地買収が設計内容により長引いたためです。県も町と同時に繰越すため影響はありません。

●町道中山道災害復旧工事

●町道中山道災害復旧工事

●旧工事の繰越理由は。
●昨年6月に現場近くが被災した際に、周辺の地質等について専門家の意見を基に検討したため、繰越となりました。完了は5月の予定です。

●旧田立電機建物除却設計事業繰越

●蘭地区の旧田立電機の建物除却設計が他事業との調整により年度以降に繰越となっている。跡地利用の事業が計画されているのか。

●旧田立電機跡地を含めた周辺が町有地のため、「跡地を公共施設の建設などに有効利用できないか」との地域要望がありました。現在検討を進めています。

●精密機械の工場であったことから、土壌汚染やアスベストなどの有害物質について調査の必要があるのではないか。

●建物のアスベスト

●調査は実施し、少量ですがアスベストの使用が確認されたので慎重に対応しています。土壌汚染の調査については今後調査を検討します。

●町道坂の下線の予備設計業務の繰越

●この事業は県が進める右岸道路事業の、高瀬橋新橋建設に付随する工事です。坂の下線は国道19号線との交差点工事やJR敷地も含み、調整が必要な機関が多く予定通り進んでいません。

●この道は子どもたちの通学路でもある歩道橋の活用など安全に十分留意した設計をお願いする。

●多額の繰越金

●全体で約4億円が繰越となっている。予算を有効に使うべきではないか。

●繰越をせず6年度の新規事業に回すのはなぜか。

●過疎債などの起債でのみ財源構成をしている事業が、県の調整で起債できない場合には次年度送りとするものもあります。

●こういった事業はおもてに出来ない繰越だ。地域の要望に因應するため、国の状況も厳しいのだとは思いますが、実施の努力を求めます。

●ふるさと納税の減額

●ふるさと納税が、600万円減額されているが理由は何か。

●前年度並みの収入を見込んでいましたが、12月に減少してしまいました。

●ふるさと納税を増やす対策はしているか。

●関係機関と協議しています。

住民関係

●国保税今後の見通し
●国民健康保険の1人当たり給付費が最近上がってきているが、国保税を上げる状況はあるのか。

●現在、令和9年度の2次医療圏の保険料水準の統一に向け改定しているところです。また給付費の増加については県から交付金としてきますので、給付費の増加がすぐに保険料引き上げにつながるものではありません。

●戸籍情報の扱い

●戸籍を一括して国が管理するような政策が進められている。個人情報を守ることで、利活用の面が強くなっているのではないかと懸念する。自治体としてどう気をつけているのか。

●町もセキュリティについては非常に大切だと思っています。考えられる問題点については、必要な対応をし

ています。

- 入札による減額
- Q 中学校の備品購入費、デイサービスのボイラーの設置費の減額理由は。
- A 入札差金です。

産業観光関係

- 水力発電の資料公表を
- Q 水力発電事業は再生エネルギー利用の1つのモデルケースだ。運営している状況を事業化の資料として公表してはどうか。
- A 発電開始から数年経っており、資料をまとめて報告したいと思っています。

- Q 林道田の沢線の工事施工状況は。
- A 4回不落でしたが、1月の5回目の入札で契約が整いました。施工期間が冬場になってしまったため5月まで繰越としたいです。

建築関係

- 倒木による停電
- Q 妻籠洞門から宿場入り口間の倒木による停電があつたが、停電の知らせがなかった。どうしてか。また中部電力やNTTと協議して危険な木は伐採することはできないか。
- A 停電の際には事前知らせてもらうよう再度申し込んでおり、今後大規模な停電については、広報無線等でお知らせします。危険木伐採については、中部電力と木曾建設事務所で現在協議中です。

- 地蔵沢堰堤工事
- Q 国交省直轄事業の地蔵沢堰堤について、妻籠地区での説明会から時間が経つたが、現在の進捗状況は。
- A 用地交渉が終わり、これから工事用道路の建設工事が始まる段階に来ているようです。併せて町の水道管敷設工事も計画しています。

教育委員会関係

- 児童遊園設置工事の延期
- Q 児童遊園設置工事が6年度に送られているが理由は何か。
- A テニスコート跡に設置を予定しましたが、グラウンド・南木曾会館等を含めた周辺の整備を検討すべきと考え、延期としました。まずは基本的なプランを立てた上で児童遊園に着工していくことになるので、児童遊園設置事業は令和6年度以降になる可能性があります。

- チャリティ売上の特定寄付金について
- Q チャリティの売上寄付82万円程の内容は。
- A 町出身の絵画家、広瀬淑子さんの絵画売上金で、「教育振興に役立ててほしい」との思いで町に寄付いただいたものです。
- 補遺となる町誌の完成は4月予定
- Q 町誌の追加部分はいつ発行されるか。

●A 4月には完成する見込みです。既存の町誌の補遺で平成時代等をまとめてあります。

●Q 児童遊園設置工事が6年度に送られているが理由は何か。

●A テニスコート跡に設置を予定しましたが、グラウンド・南木曾会館等を含めた周辺の整備を検討すべきと考え、延期としました。まずは基本的なプランを立てた上で児童遊園に着工していくことになるので、児童遊園設置事業は令和6年度以降になる可能性があります。

●Q 内容についての講演会などの計画は。

●A 公民館等の講座で南木曾町の歴史等を聞いていただく機会の検討を進めています。

リニア関係

- 予備的措置(その2)
- Q 簡易水道の補償費等の減額の内容は。
- A リニアの予備的措置の事業は、予備的措置(その2)協定をJR東海と結んで工事を進めています。令和5年度は仮設の取水、堰堤から仮浄水場までの仮配管工事など2工区を発注します。既設管までの仮配管などは令和6年度に回し、不要分として減額しました。仮設管等の工事完了後のリース代については、
- 運搬台数と土量
- Q 右岸道路の十二兼での工事用道路に、リニア尾越工区から上限2万6000m³を運んでいるトラックの台数や土量などの資料を把握しているか。
- A 車両については一日往復250台を超えていないかどうか報告で確認していますが、運搬土量は確認していません。受け入れている県に確認しようと思っています。

全額来年度とし今回は減額しています。

●一般会計・特別会計補正予算 (単位:千円)

| 会 計 | 補正額 | 補正後の金額 |
|------------------|----------|-----------|
| 一般会計(第8号) | △ 52,697 | 4,483,105 |
| 一般会計(第9号) | 1,090 | 4,484,195 |
| 国民健康保険特別会計(第4号) | 41,587 | 383,571 |
| 宅地造成事業特別会計(第3号) | △ 3,299 | 17,043 |
| 後期高齢者医療特別会計(第4号) | 310 | 77,258 |

●事業会計補正予算 (単位:千円)

| 会 計 | 補正額 | 補正後の金額 |
|----------------------|-----------|---------|
| 簡易水道事業会計(第3号) | | |
| 収益的収入 | △ 187,723 | 196,714 |
| 収益的支出 | △ 186,888 | 189,790 |
| 資本的収入 | △ 154,327 | 120,123 |
| 資本的支出 | △ 154,560 | 191,226 |
| 特定環境保全公共下水道事業会計(第3号) | | |
| 収益的収入 | △ 100 | 79,968 |
| 収益的支出 | △ 200 | 56,454 |
| 資本的収入 | △ 200 | 15,500 |
| 資本的支出 | △ 100 | 50,870 |
| 農業集落排水事業会計(第4号) | | |
| 収益的収入 | △ 2,500 | 101,221 |
| 収益的支出 | △ 2,550 | 64,390 |
| 資本的収入 | △ 400 | 3,000 |
| 資本的支出 | △ 400 | 53,474 |
| 浄化槽市町村整備推進事業会計(第3号) | | |
| 収益的収入 | △ 2,000 | 127,943 |
| 収益的支出 | △ 2,500 | 119,164 |
| 資本的収入 | △ 920 | 11,671 |
| 資本的支出 | △ 800 | 35,801 |

令和6年度

当初予算審議概要

一般会計予算39億4500万円、特別会計予算4億6249万3千円、事業会計予算を採択しました。
※詳細内容は、広報なぎそ今月号2〜3P・11P掲載。

総務関係

●骨格予算の内容

●施設方針で骨格予算となつていますが、予算規模は去年とあまり変わっていない。

●A 予算の規模は、令和6年度40億弱という編成をしました。4月に町長選挙があり基本的に骨格予算です。規模が昨年並みの要因として経常経費の占める割合が高く、経常収支比率85%程度で硬直化した財政の状況にあること、建設事業等を国庫補助金や起債申請の関係で当初予算に載せざるを得ないことなどがあります。

●町民税の減収

●Q 町税が減収となつている。法人税も事業者数の減などもあり予

算を減額している。町での起業を促進するなど税収を上げる努力も必要ではないか。

●A サテライトオフィスの開設等、町でも起業に対する取り組みをしています。今後さらに必要な支援策を探りながら、対策をしていきます。

●町職員の採用状況

●Q 来年度の新規採用は3名とのこと。採用希望に対して十分な応募があつての結果か。

●A 積極的な採用をしたいと思つていますが希望通りの応募に至つていないのが現実です。

●総合計画の作成方法

●Q 総合計画の委員審議会の経費として50万円あるが、別途の委託料500万円は何を委

託するのか。

●A 総合計画と総合戦略が一体の計画を作り直します。委託の内容は人口ビジョンの人口推計の見直し、アンケート調査の集計分析等の経費、計画案作成時の打ち合わせ経費などです。統計とアンケートで約230万円になり、現状課題の整理や総合計画組み立てなどの計画策定支援、審議会や策定委員会の運営支援、パブリックコメント等の対応、概要版の作成、郵送料等で約270万円です。

●Q 計画策定において現状、課題、対策の3つを拾い上げるのは策定委員会か。委託してできたものを審議会で審議するのか。

●A まずアンケートをとり、結果をもとに職員と業者で素案を作り、その後審議会に意見を求めます。協議終了後に案を修正し、議会に諮って合意が得られれば、パブリックコメン

トをし、その意見に基づいて修正する流れになります。

移住・定住関係

●サテライトオフィス開設計画

●Q 計画地を見たが、駐車場の整備やフェンスの建設などリフォームにかなり費用が掛かるように見えた。今後費用が増大しないか。

●A 建設費1600万円、除去費用200万円を計上しており、この範囲で建設できるようにいたします。建築年は昭和55年で、耐震についても確認し、建設費用の中に耐震補強の費用も含まれています。



サテライトオフィス予定住宅 (神戸)

●Q 施設使用の開始はいつか。使用してくれる人がいるのか心配だ。

●A 令和6年度中の完成を予定し、活用に向けては、ふるさと回帰支援センターなどを通じてPRしていきたいと考えています。

●地域おこし協力隊の去就と採用

●Q 本年度で任期満了の隊員の去就と新規採用は。

●A 任期満了の3名の内、1名はコロナ禍の特例により、もう1年延長して任務にあたります。他は1名が木曾町、1名が岐阜県内に転出の予定です。新規採用は1名の予定です。

●要望 長く町で活躍してもらえよう行政の努力を望む。

住民関係

●システム化・改修の是非

●Q 情報システム改修費用の予算の割合が大

きくなつている。システム構築は避けられないだろうが、個人情報保護の問題などもあると考えている。これは必要なものなのか。

●A 令和6年度デジタル化は戸籍の標準化・共通化が大きな事業となります。デジタル庁が中心になって実施しており、町としてはやらなければいけない事業として予算計上しました。

●新型コロナ対策

●Q しばらくはコロナワクチン接種の予定がない。コロナに感染してしまった場合の治療薬には補助があるか。

●A 3月までは補助があります。それが降は補助がなくなります。要望 何らかの補助を考えてほしい。

●不妊治療への補助

●Q 町の不妊治療制度の利用実績は。

●A 令和2年に3件、3年に1件、4年に2

件、5年は今のところ申請がありません。実績が伸びていない要因の1つとしては、国の制度変更で不妊治療が保険適用になったことでもあると思いますが、町も告知の方法など今後考えていきます。

●社協への支援

Q 社協は人材不足の問題も含めて運営に苦労しているようだ。介護分野で大きな役割を果たしているが、補助額は昨年とあまり変わっていない。

A 運営が苦しいというところは聞いていますが、現状は独自の財源を活用しながら対応しているとのこと。

●補聴器購入補助制度
Q 補聴器購入補助は、来年度30万円で少し減っている。利用しやすい制度への見直しの考えはあるか。

A 制度は令和3年に開始され、年間5、6件ずつで推移をしています。今後拡充すべき

であれば考えたいと思います。

●福祉タフシー券の対象拡大

Q オンデマンドタフシーが一部しか使えない。高齢者福祉タフシーも利用条件が狭く、タフシー券の申請は多くない。福祉タフシー制度を見直し、高齢者通学などの足に利用条件を広げられないか。

A この福祉という観点は違った切り口で良いと思います。制度の内容を確認し、利用しやすくていいのか検討したいと思います。

●子どものレセプト代

Q 子どもの医療費窓口無料化を県が支援する方向が示され、予算的に余裕ができるのではないか。せめてレセプト代300円の無料化を望む。

A 知事からも県の支援拡大部分を町で活用してほしいと話をいただきました。それをどこに充てていくかこれ

から検討していきたいです。

●満蒙開拓団記念碑

Q 来年戦後80年を迎えるが、天白区にある満蒙開拓団の忠霊塔の老朽化が進み壊れそうになっている。町で修理し戦争の歴史を語り継いでいく考えはないのか。

A 忠霊塔は町有地に設置されていて、町が天白区に草刈り等の管理をお願いしています。忠霊塔そのものは遺族会が管理をします。

Q 関係する自興会は解散し遺族会も維持するのは無理だ。町で維持できないか。町で維持できないか。

A 現在の管理者と相



満蒙開拓団の記念碑

話し検討します。

●意見 町で維持修繕を

して、中学生や高校生に満蒙開拓の歴史や戦争の悲惨さを勉強してもらおう場にしてはどうか。

農林関係

●耕作条件改善事業
Q 耕作条件改善事業を5年度に比べ減額している理由は。

A 補助事業の希望者から当初予算は4件で計上しましたが、2件追加する予定なので令和5年度7件、令和6年度6件となります。

●希望者減は遊休農地の増加に繋がると危惧する。補助金等の活用を促し、遊休農地が増加しない努力を求め。

●圃場整備箇所公園
Q 国の補助事業のよ

A 現制度では対象でないため難しいです。

●畜産農家への支援

Q 畜産に使う飼料代の高騰へ補助の考えは。
A 令和5年度まではコロナ臨時交付金で補助できましたが、6年度は財源が無いため難しいです。飼料代には直接国の支援が充てられています。

●意見 畜産は一度やめ

ると再開が難しい。畜産業が継続できるように支援をお願いしたい。

●大型サル捕獲檻

Q サルの大型捕獲檻の計画は。既存の檻の移動設置も含め、農業者が苦しまないよう対応を願いたい。

A 設置場所の調整等もあり、現在は2基で捕獲に努めています。令和7年度に増設を考えています。

商工関係

●商工業者への支援

Q 商店など事業継続への危機感がある。コロナ禍や物価高騰対策では商品券などで事業者支援ができた。この町で今頑張っている事業者をなくさず、町民全体でこの町の機能を支えていく視点での振興策についての考えは。

A 地域から具体的にやってくるのからではと判断しています。

●意見 業者だけの声でなく、住民全体がこの町を維持し盛り上げていくには何ができるか検討すべき課題かと思う。

道路関係

●林道細野山線の橋梁
Q 林道細野山線の新年度事業に、法面改良・支障木伐採で65万円とある。林道長寿命化計画の2つの橋梁の改修はどうなっているのか。

A 細野山線の2つの橋梁の調査は今年度に

終わり工事を計画している段階です。来年度は法面改良・支障木伐採を中心に実施します。

Q 与川大桑村境の林道路が町道から林道になる。水源もあり町境までを町道として管理できないかという意見がある。

A 大桑への道は緊急道路でもあるので、詳細を調べて何ができるか、どんな方法があるか検討したいと思います。

Q 中学校横の三叉路以前からお願いしている三留野大橋の南木曾中学校寄り三叉路の横断歩道の設置はどうなっているか。

A 警察との協議の結果、横断歩道の設置はできません。路面表示などにより安全対策をとっています。

Q 与川入口の町道改良
Q 与川の国道から入った箇所で国交省が

堰堤の調査ボーリングをしている。事業のなかで、町道与川線の改良など、地元からの要望を受けとめる機会が必要ではないか。

A 与川の堰堤は計画が再開し、新しい基準での再設計、用地測量など詳細への準備をしていると思います。多治見砂防事務所も、ダム管理や工事を進める上で、与川線の改良や落石対策などは必要だと認識しており、砂防事務所には機会があるたびに話をしていきたいと思えます。

Q 浄化槽の計画
Q 浄化槽市町村整備事業で令和6年度の浄化槽設置は何基計画か
A 15基です。

上下水道関係

教育委員会関係

Q ワゴン車の購入
Q 中学校の部活動支援でワゴン車2台購入とあるが、利用について

何か規定があるか。
A 運用については、登録と免許証があれば特にありません。現在のマイクロスバスのように貸し出しますが、町の業務優先で考えています。管理については、使用後の掃除は大前提ですが、燃料については運用しやすいように検討しています。

要望 新年度は非常に厳しい状況で、先生方の負担も大きい。町にはしっかりとした補助をお願いする。

Q 妻籠の防災施設整備
Q 妻籠地区防災施設整備事業の4300万円の内容と、上水道からの給水で従来の大井水の水利組合とは合意しているのか。
A 防火水槽の更新と水道管の埋設工事です。埋設している防災管については、水管橋以外そのまま使います。また大井水組合とは、文化財係とは切り離すことで合意しています。

Q 教員不足への対応
Q 学校の先生が足りていない現状と、新年度の状況について。また町費で採用する先生は何人か。
A 教育委員会でも先生方の協力のなかで、各方面への働きかけや情報収集等行いましたが、小・中学校各1名の教諭確保ができませんでした。町費採用の先生は小学校では講師2名、支援員5名。中学校では講師1名、非常勤講師1名、スクールカウンセラー10・5人、特別支援員1名を予定しています。

要望 休館日は町の観光にマイナスイメージを与える。早急な職員確保でフルオープンを目指してほしい。

Q 博物館の入場収入
Q 妻籠の博物館は、休館日を設定するのに増収の計画となっているか。
A 令和6年度は隔週木曜日を休館日としますが、令和5年度の前年比1.5倍の入場者実績から増収の予算としました。

要望 英語検定料補助金
要望 英語検定料補助金を小学生まで対象に入れてほしい。



南木曾町博物館入口

Q 博物館の入場収入
Q 妻籠の博物館は、休館日を設定するのに増収の計画となっているか。
A 令和6年度は隔週木曜日を休館日としますが、令和5年度の前年比1.5倍の入場者実績から増収の予算としました。

要望 休館日は町の観光にマイナスイメージを与える。早急な職員確保でフルオープンを目指してほしい。

担、町負担は約7割になっている。この先の無償化への考えは。
A 子育て、特に学校に通う子どもの保護者負担を減らす支援策もやりたいと公約に挙げており、少しでも上乗せできればと考えています。

リニア関連

Q 改良箇所の資料保管
Q JRが行った完了工事の資料がまだ提出されていないようだ。設計した図書、施工記録などを町が保管しておかなければ、町の責任として今後管理できない。

Q 学校給食への支援
Q 学校給食費支援は予算の中では1人当たり5万円、実務上は保護者に年間3万円の負担

議会と町の意見交換 全員協議会

(2月26日、3月13日)

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

今回は7つの協議事項が出されました。議員の意見を紹介します。

校外中間教室について

【説明概要】

様々な理由で学校に登校していない児童生徒のために、「その子らしさを大事にした自立支援をしていく」場所として、学校外に中間教室を設置します。

【協議の状況】

●中間教室の規模

学校内とは別に南木曾会館2階に新たな中間教室を設置するようだが、一般的に言うフリースクール的なものなのか。何人くらいを想定しているのか。

●教室への理解と支援

保護者や住民の理解の必要性等の質問がある。サポート体制については、学校の教員不足により2学級編成もままならない現状の中、専門的知識のあるサポーターが見つかるかどうかといったことを懸念する声もあった。

サテライトオフィス・移住体験住宅整備事業について

【説明概要】

人口減少が続いている現状を踏まえ、仕事を続けながら移住体験ができるサテライトオフィス・移住体験住宅を整備します。今後の運用に向け、移住定住コーディネーターとして地域おこし協力隊を採用する予定です。

【協議の状況】

●建物の適正評価

対象物件は築42年とかなり古く、使われなくなっているからの放置期間も長い。荒れ放題で環境的にも良い状態ではない。計画を作るに当たり、使ってもらわなければならない人の意見を聞いた上で配置や改装の見直しも必要ではないか。また、場合によっては新築した方が良いのではないか。

●サテライトオフィスの意義

サテライトオフィス及び移住体験住宅の建設は、町の移住定住推進策としてぜひ成功させてほしい事業だ。この2施設の管理運営を担う「移住コーディネーター」として「地域おこし協力隊」の募集をしているが、協力隊は町のことを十分把握しておらず、任期も3年間と短い。移住定住の促進を図るには重要な任務であると思うので、どのように運用していくか今後検討が必要だ。

移住定住促進 空家活用住宅事業について

【説明概要】

都市部からの子育て世帯の移住定住を促すために、子ども部屋がある空き家を選定し、町が借入れ、水回りなどを改修した後貸し出します。町と入居者間の契約終了後、建物を所有者に返還するという事業です。

【協議の状況】

●事業内容の課題

空家を活用して安価な住宅を提供することは良い試みだと思うが、家主が空家を提供する場合、空家の片付けが大きなハードルとなっている。片付けの期間と費用も町の経費計画に入っているか。また改修に掛かった経費を家賃収入により10年で回収する計画だが、建物の経年劣化分を家主は回収できない。経年劣化を家主にどのように理解してもらおうのかなど、家主と契約する際、事業をスムーズに推進していく必要がある。今後の努力を求めたい。

●計画の進め方

都市部からの若い移住者を呼び込む計画であるなら、北部地区の物件などは駐車場が必要だ。また、農地を求め人もいる。そのような借り手側の必要条件を十分に考えた対応を求めたい。また、令和9年度までに6棟を造成する計画であるが、町の各地域に片寄ることなく計画を進めてほしい。

南木曾町 地域防災計画 改訂案について

【説明概要】

町では、国・県の防災計画に沿って平成26年度以来9年ぶりに南木曾町地域防災計画を改訂しました。近年では、地球温暖化等を原因とする「爆弾低気圧」「線状降水帯」といった異常気象が大きな災害を引き起こしています。また能登半島地震のような地震の発生の対応も必要です。今回の防災計画は次の4項目を基本に改訂しました。1 風水害対策編・2 震災対策編・3 原子力対策編・4 その他災害対策編（雪害・航空災害等）です。木曾広域連合では3月からケーブルテレビで天気予報や大雨大雪警報、河川や道路の状況が見られるように配信しています。

町道富貴畑線改良工事の進め方について

【説明概要】

町道富貴畑線改良は令和4年に広瀬地域振興協議会より要望書が出され、町ではリニア工事認可による制度を活用しての事業としてJ.R東海と協議を進めています。

●事業内容

リニア工事広瀬工区からの発生土等を活用し、町の事業として盛土造成と道路改良を行い、工事はJ.R東海が実施する予定です。用地はJ.Rの補償金により町が購入し町有地になります。造成工事に合わせて中市木線の改良工事も実施します。

町道沿いに約3000㎡と約1万3000㎡の平地が造成され、水道用地等としての活用を予定しています。

造成地の町道部分以外の平地とのり面の維持管理はJ.R東海が行う方向で協議していますが、管理方法等も含めて協定書で定めます。

●今後の進め方

J.Rによる用地測量、詳細設計完了後に再度地元説明が行われることとなります。

町事業として用地の購入があり、新年度予算においてJ.R補償金による取得をする協議を進めています。

【協議の状況】

●町のメリット

リニア工事で水道への万が一の事態の時、配水池を作る場所、資材を置いておく場所などなかなか適地がないが、今回の盛土工事でできる平地は町の土地となるため、計画を立てて使えるメリットがある。

●J.Rとの協定の問題

施工協定や管理協定などは、町有地であるため町との協定になる。使うのは町だが、今想定していない将来的な懸念などにも、J.Rが責任を持って維持管理していくという文書を締結した上で施工するといった考え方が示された。

リニアの発生土処理において、土地は町有地で管理はJ.Rがやるというのは初めてのケースになり、他の置き場もこうしただり方をしていくのかとの意見が出ている。

●造成地等の維持管理

町道部分は当然町が責任を持つが、盛土部分は工事が大規模で町としても技術力や人材の面で大変なので、J.Rに責任を持った施工を交渉しているとの説明があった。

最大高さ25mの盛土はだんだん沈下し、配水池が盛土の上に置けるのか、他にも色々問題が出てくるのではないかとの意見がある。

●施工前の調査

谷の浅いところを埋めるので、地下水などの問題を含め、調査の必要などの指摘があった。

南木曾町消防団組織編成の見直しについて

【説明概要】

団員数の減少により、消防車両の維持管理や出動体制などに影響が出ないよう調整したものです。

【協議の状況】

●編成変えの評価

消防団が自分で考えてやっていくことは素晴らしいことだ。これによる消防自動車の配置など大きな変更はないようだが、団員の減少など状況の変化に対応していくことは必要なことだ。

団員の減少などがあり今後を見据え、1年間試行錯誤しながら編成を変えたわけだが、従来の方法からの変化への対応が上手くいくのか心配。

●活動しやすい組織へ

町にとって必要な重要組織である。定年の延長など試行錯誤のなかでの変更だと思ふ。団員の参加がしやすいよう、今いる消防団員の気持ちをしつかりと汲みとっていただけるような努力もしていただきたい。

南木曾町男女共同参画計画第4次計画の策定について

【説明概要】

町の男女共同参画計画の第4次計画をまとめました。今回の計画からは住民が男女共同参画に取り組みやすいように、1人1人が取り組む目標を設定しました。

【協議の状況】

●計画の意義

男女共同参画計画は非常に大事なことで、ジェンダー平等といった流れや見方のなかで、自分の考えが問われてきている。しっかり行う必要がある。

●役場での現状は

女性の方が高齢まで働く割合が少ないので役場の女性管理職は少ないが、最近では増えている。

女性職員のスキルアップを常時行い管理職になれるよう望むという意見には、早いうちからの経験、研修を積めるよう努力していきたいとの回答があった。

●今後の課題

男女の賃金格差が非常に大きい問題があると思うが、この計画の中では、経済的な問題について分析していない。ジェンダーの理解の状況もアンケートで取っているが、ジェンダー平等の国際的な見方や人権をどう捉えていくか、この計画も見直していくことが求められている。

報告 木曾広域連合議会

第1回定例会が2月29日開催され、令和6年度予算、第9次木曾広域連合介護保険計画などが決まりました。主な内容は次のとおりです。

- 木曾広域連合消防手数料条例の一部を改正
- 木曾広域連合介護保険条例の一部を改正

第9期介護保険事業計画の策定に伴い、令和6年度から8年度までの介護保険料率の改定や保険料所得段階の追加を規定した。所得段階は13段階となり、基準額は月5,600円。
- 指定管理移行に伴う関係条例の整備に関する条例について

木曾寮の指定管理移行に伴い関係条例を改正・廃止する。木曾寮関係業務を健康福祉課に移管することなど。
- 木曾地域高度情報化施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正

令和5年度末でケーブルテレビの050IP電話を廃止する。
- 木曾広域連合補正予算関係
 - ・令和5年度一般会計補正予算（第5号）
7,272万2千円を減額、総額47億2,363万4千円。
 - ・令和5年度介護保険特別会計補正予算（第4号）
28万3千円を減額、総額42億2,418万9千円。

全員協議会

- ◆木曾広域連合財務諸表（令和4年度決算）の報告
- ◆不燃物処理施設の業務委託について

令和6年度からクリーンセンターの不燃ゴミ処理やリサイクルストックヤードの管理を業務委託する。
- ◆消防通信指令システムの共同運用の進捗状況

2月に飯田広域消防本部との連携・協力実施計画（案）を策定、3月末県に実施計画を提出予定。
- ◆自治体DX/ICT利活用計画の実施状況

令和5年度は、道路・河川情報等の提供をケーブルテレビの自主放送チャンネルに表示。6年度は回覧等の表示や会議用操作端末の導入検討。
- 令和6年度木曾広域連合予算（下表参照）

一般会計予算は総額32億3,858万7千円で、木曾寮建設完了により前年度より約15億円の減額。

| 令和6年度木曾広域連合当初予算（単位：千円） | | | |
|------------------------|-----------|-----------|------------|
| 会計区分 | 令和6年度 | 令和5年度 | 対前年度比較 |
| 一般会計 | 3,238,587 | 4,771,324 | △1,532,737 |
| 介護保険特別会計 | 3,835,422 | 4,098,281 | △ 262,859 |
| 総計 | 7,074,009 | 8,869,605 | △1,795,596 |
| 公営企業会計 | | | |
| | 令和6年度 | 令和5年度 | 対前年度比較 |
| 下水道事業会計（収益的収支） | 110,421 | 132,429 | △ 22,008 |
| 下水道事業会計（資本的支出） | 24,211 | 23,886 | 325 |

報告 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会

2月16日に開催された2月定例会の主な内容は次のとおりです。

定例会

- 令和6年度一般会計当初予算

予算総額43億1,400万円前年度対比2.5%1億400万円の増となっています。
- 令和5年度一般会計補正予算（第2号）

4,300万円を増額し、総額43億7,200万円となりました。施設見込利用者のサービス収入の見直し及び職員退職手当の増が主な理由です。
- 条例改正について

組合一般職の職員の給与、特殊勤務手当、会計年度任用職員の給与、職員の定年等に関する条例の一部改正、組合公告式条例の改正など5件の条例改正がありました。
- 財産の無償貸付けについて

旧デイサービスセンターの3施設を、通所介護事業所として引き続き無償で貸付けるものです。

全員協議会

- 組合のあり方検討有識者会議について

令和6年度内に有識者による検討委員会を立ち上げて下表の内容について審議するというものです。

| 検討内容 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○組合のあり方 公的機関が介護事業所を運営する意義 介護保険制度下における公的施設の経営課題 ○組合圏域別の課題解決の方向性 ○組合施設の集約・再編に関すること ○四賀福寿荘・木曾あすなる荘の施設の第10期以降のあり方 ○囑託医の確保 |

【伊藤寿子議員の全員協議会での発言】

配布資料を見ればあすなる荘の経営が赤字になっているのは明らかだが、ここまでに至ったのは定員数の急激な削減と係る経費がさほど変わっていない所にあると思う。あすなる荘の4人部屋は無くしたら二度と再生できないということもある。また職員については今の状況の中、この1年間介護事故が起きておらず利用者さんのご家族からも評判が良い。

有識者の皆さんには、これまで発言したあすなる荘の良さ、事情を考慮して頂き、是非とも存続の方向でご検討をお願いしたい。

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

南木曾町議会・中津川市議会リニア特別委員会合同会議

令和6年1月29日、南木曾会館多目的ホールにおいて、中津川市議会リニア特別委員会との合同会議を行いました。平成27年から毎年開催し、双方の状況を行政の各担当者が説明し、それぞれの地域の課題を認識しあう会となっています。南木曾町議会からは議長、委員（9名）、町長、中津川市議会からは議長と委員（9名）、また各市町の担当者らが出席しました。

【あいさつ】

・**山崎隆二南木曾町議長** 幸せ信州、国道19号の交通帯域を広げる話、リニアによる人流、今後の合同会議の存続等。

・**吉村浩平中津川市議長** 様々な自治体からの視察、ネットワークを活かすのが使命、19号右岸道路への協力、市長の交代、今後の交流計画等。

・**向井裕明南木曾町町長** 中津川市とは道路、観光、日本遺産、SDGs等の連携を次に繋げたい。リニア効果の期待がある。

【各種報告】

・**中津川市議会委員会（榎松直子委員長）** 濃飛横断道促進、三市一村（郡上市・下呂市・中津川市・東白川村）会議、恵那市議会合同会議、リニア視察等。

・**南木曾町議会委員会（赤坂孝委員長）** 町の対策協議会に向けた委員会の意見集約、リニア工事の大きな課題（トンネル掘削の発生土置場の確保、水資源の影響）について等。

・**中津川市** 岐阜県駅周辺関連整備、濃飛横断自動車道、（仮称）神坂スマートインター等。

・**南木曾町** 山口工区、広瀬工区、尾越工区、水道水源予備的措置、リニアを活かす取組等。

【意見交換、主な質問】

- ・岐阜県駅と中津川駅の連絡
- ・駅構内の飲食店、カフェ、駐車場の設置整備
- ・現状JRダイヤ特急列車、快速の停車等
- ・神坂スマートインターチェンジの開通予定
- ・観光客（馬籠～妻籠）の構想について
- ・南木曾－中津川線の道路改良の進捗
- ・水道水源予備的措置の本設・仮設について



▲中津川市議会との合同会議の様子

また3月21日に同委員会を開催し、第41回リニア対策協議会での対応を検討しました。

（文責：赤坂孝委員長）

議会の傍聴にお越しください

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。詳しい日程などについては、町ホームページ、音声告知端末放送、ケーブルテレビなどでお知らせしています。

※3月の議会は、3日間で9人の傍聴がありました。



編集後記

議員の任期最後の本会議が終わり、議会報の編集を行っています。

国会では政治と金が問題となつていますが、有権者ではない企業からの献金を自在に使っていることに違和感があります。献金には力があり、議員に有権者から付託された権利の行使を、企業が横取りする力になりはしないか。

政治とは何か、議会の何をどのように伝えなくてはいけないのか、試行錯誤の4年間は過ぎました。

このころは議会の様子を伝える手段も増えていました。これまでにできなかったことは次に託します。

議会報への叱咤激励ありがとうございました。

議会報編集委員

坂本 満（記）

伊藤 寿子

田中 晃

早川 親利